



柏ビレッジ・ニュース

柏ビレッジ自治会ホームページ <http://Kashiwa-village.com/>

2018年12月22日
柏ビレッジ自治会発行
自治会事務局(自治会館)
TEL 04-7132-1925
FAX 04-7132-1965

今後は「空き家増加」への不安 — シンポジウムでの藤井筑波大准教授

柏ビレッジの全体評価は高いが 公共交通・生活利便性は低い。

未来まちづくり協議会(事務局:柏ビレッジ自治会・活性化委員会 宮崎)



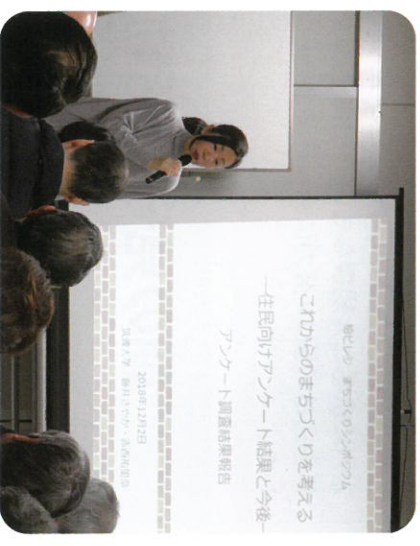
12月2日(日)、「未来まちづくり協議会」は、筑波大の藤井先生をお迎えして、自治会館で「これからのまちづくりを考える」を、多くの住民の参加をいただいで開催いたしました。

まず、藤井先生より、本年6月に実施した全住民向けアンケートの調査結果について、図表を使い分かりやすく説明をいただきました。柏ビレッジ全体に対する住民の満足度は、全国平均に比較しても高く、特に騒音・大気汚染のなさ、自然、敷地の広さ、景観の点からの評価が際立っていました。一方、通勤・通学の利便性、買物・子育てについては、厳しい評価ができました。参加した方からは、普段の生活では気が付かない柏ビレッジの現状と課題について、良く分かったとの声も聞かれました。

後半は、参加頂いた多くの方から出された「意見カード」の中から、藤井先生が、①公共交通 ②空き家のテーマを選び、参加者との課題、対応について意見交換を行いました。

その際、自治会、ビレッジサポート、建築協定、緑地協定の代表からは、各団体の現在の取り組み状況について紹介があり、最後に、柏ビレッジ建築協定の顧問建築士の有馬先生やUDCK三牧さんから住民の地域活動へのコメントを頂いて、3時間のシンポジウムは終了しました。

多くの皆さんのシンポジウムへのご参加、そして「意見カード」[街づくり活動への参加希望]の提出ありがとうございました。「未来まちづくり協議会」としては、今後は、具体的な活動を着実にしたいと思いますので、ご参加・ご支援をいただければと思います。



11月18日(日)、恒例の防災訓練を実施し90名強の参加がありました。午前7時30分「震度6強の地震が発生した」との想定で役員連絡網による伝達訓練を行いました。9時50分からは本部と支部長による無線交信による避難訓練を開始しその後全支部の参加者が近隣公園に集結しました。

柏消防署たなか分署から消防車両も到着しAED訓練、起震車体験、消火訓練、119番通報訓練をたなか分署隊員の皆様の指導の下実施しました。

AED心臓蘇生法については多くの方が体験され、また真剣に質問されていました。その後起震車体験では震度6強の揺れがいかにか大きいか実体験していただき、初期消火訓練、119番通報訓練を体験していただきました。最後に防災用水源である「ビレッジの泉」を見学し防災井戸の概要を説明頂き、自治会館内で火災発生との想定の下避難訓練を実施し午前9時の部を終了しました。午後2時から今回初めての試みとして柏市防災安全課による防災講習会を自治

防災訓練



1. 自分たちの住んでいるまちは災害に遭わないという思い込みを捨てる
2. 自分たちが守るといふ自覚を持つ
3. 災害時に協力し合うという「防災の心構え」を今一度心に刻み、日ごろから顔の見える関係づくりを実践する柏ビレッジにしたいものです。(防災部 山本)

会館で開催しました。約50名の参加をいただき

①災害を知ろう ②柏市の防災対策
③避難所の現実 ④自助共助の備え というテーマにつき1時間の講演をいただきその後30分の質疑応答を行いました。災害が全国各地で頻発している昨今、防災についての関心、意識は大変高くなるもの課題、懸念について活発な質疑応答が行われ大変有意義な講習会となりました。

秋のクリーニングを終えて



風もなく穏やかな天気の中で、11月25日(日)、秋のクリーニングが実施され、季節柄、大量の落ち葉の収集作業となりました。今回参加いただいた皆さま、朝早くからお疲れ様でした。皆さまのおかげで幹線道路もすっきりいたしました。ご協力本当にありがとうございました。(環境部 高野)

